

学校名	寝屋川市立第二中学校
学年	三年一組
氏名	山本 華音

題名 税金はたくさんのおかげさま

「全ては、おかげさまの存在があるからだ」  
 よ、父からよく聞く言葉です。あるとき、私  
 は母に、父がなぜこの言葉をよく口にしているの  
 が尋ねました。父は過去に三度も心筋梗塞で  
 倒れた経験があります。私が5歳の頃に倒れ  
 た時は少し覚えていますが、私が生まれる  
 前と生まれて一か月くらいの時だったそう  
 です。倒れるたびに急な入院と治療を受けま  
 した。直接治療したのは主治医の先生ですが

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

父はそれ以外にも、看護師さんや栄養士の先  
 生、病院以外にも菓子のパツケージを作る人な  
 ど、たくさんの人にお世話になっていて、そ  
 れが陰で支えてくれる「おかげさま」だと父  
 は、言っている。母から聞きました。税金も  
 「おかげさま」の一つだ、という話を父から聞  
 いて、税や社会保障、高額医療制度について  
 考える機会を得ました。この作文では、私  
 が中学生が考えるべきところで、現在の大人た  
 ちに感謝することについて述べたいと思いま

中学生の「税についての作文」原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
337					607

す。

まず、社会保障と高額医療制度について、日本の支出は、社会保障からトクで納37兆円も占める重要な役割です。父の入院費や手術費は大変高額だったそうです。幸いなことに社会保障や高額医療制度のおかげで、医療費の一部が補助されました。これにより、家の経済的負担が軽減され、治療に専念できる環境が整いました。これらの制度に感謝すると同時に、今後もより充実した社会保障を築

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

いていくことが重要だと思います。

次に、私たち中学生が考えるべきことにつ

いてです。税には国や地域の発展に欠かせな

い役割があります。税金を納めることで、医

療や教育、災害対策など、さまざまな社会的

サービスや施策が実現しています。だからこ

そ私たちが将来、成人として働く時には、正

しく税金を納めることが社会への貢献につな

がるのです。負担と感ずることもあるかもし

れませんが、そのお金が社会の「おかげさま

中学生の「税についての作文」原稿用紙

になつてゐることを知り、税金の重要性を理  
解することが大切です。

また、今の大人たちに感謝することも忘れ  
てはなりません。私たちが快適な環境で暮ら  
し、学び成長できるのは、過去の世代が築い  
てきた成果のおかげさまです。たくさん  
の「おかげさま」が築いた社会制度や福祉に  
感謝し、その恩恵を受け継ぐことは大切なこ  
とです。そして、未来のために私たちが自身も  
努力し、社会に貢献することで次世代へつ

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

なげていく責任があると思ひます。

父の清良の経験から、税や社会保障の重要  
性を痛感しました。私たち中学生は将来の社  
会を担う存在です。常に感謝の気持ちを持  
ち、共感の心を持ちながら、社会に対する理  
解を深めていきたいと思ひます。そして、私  
たちの行動が誰かの「おかげさま」になつて  
少しづつでも社会をより良い方向に導くこと  
を願つていきます。